



テレビでおなじみ内田貴光さんの華麗なマジック(十一月十六日、蔵本通支坊で行われた安芸南組少年少女報恩講の集いは、一六〇名を超える参加者でにぎわった)。

西教寺報

第91号
 仏歴2546(2003・平成15)年
 1月13日発行
 呉中央7-7-13
 西教寺蔵本通支坊
 TEL0823(21)2798
 FAX0823(21)2795
 郵便振替番号
 01340-3-29117

厭離戦争 欣求平和

岩崎 正衛(住職)

近ごろ岩波書店から『四字熟語辞典』が出版されました。漢字の四字からなる熟語は簡単明瞭にいわんとするところを表現しています。「弱肉強食」とか「真実一路」「単純明快」などなど、私たちは日常全く無意識に愛用しているのです。

現代日本の知性は代表する一人である加藤周一さんが、先日の朝日新聞に、「触即発の戦争の危機を孕ん

紙 面

厭離戦争・欣求平和…岩崎正衛(住職) 1
 おたんのお精進 2
 第十一回世界仏教婦人大会に参加して…折出笹美 3
 長ノ木本坊本堂修復経過のご報告… 4
 全国仏光大会(写真)… 4
 成人おめでとう… 4
 広島真宗カウソウセリング学習会(案内)… 4
 新世話人(空井・中元・折出・尾木さん)… 5
 おとりこし報恩講… 5

敬悼録 7
 厚井とみさん・河野ナエさんの歌… 7
 三津田支坊年末大掃除… 7
 「御手洗」久保田利数… 8
 本坊駐車場広くなりました… 8
 誓子の日記 岩崎誓子… 9
 お詫びと訂正・お礼… 9
 本坊本堂修復「れからの予定」… 9
 西教寺法座と例会のご案内… 10

おたんの の お精進

真宗は、在家の仏道です。「念仏」「戒律」をいいません。しかし私どもの先祖は、古来より、毎月十六日の親鸞さまの命日や、肉親の命日、また仏事のお斎等、お精進をして過してきました。特に一月十六日の「おたんのや(親鸞さまの祥月命日)」には、漁・獵をせず、つい最近まで市場、精肉店・鮮魚店が休みになっていたほどです。これは、教を聞いて「いのち」に眼を開かれたものの報謝行(不殺生の実践)といえます。それは、決してケガレ払いという意味ではありません。

「しるし」

長年手を合わせてきた者には、何か「しるし」があるはずだ、と親鸞さまはおっしゃっています。たとえ、流れには逆らえない人生であっても、念仏を学べば「生活の何か、どこかが違ってくる」といってよいでしょう。その意味で、お精進の習慣は、先祖が念仏に生きてきた「しるし」ともいえます。それは、「決して」でなければならぬ「しるし」ではありません。



「す訳ではなく、植物は頂くのですから、大して違わないともいえます。しかし、「しるし」という意味では、たとえ「一皿のお精進」であっても意味があります。「残さないうい」といって「しるし」だて、温暖化に取り組み「しるし」だてあります。でも、全くないのは未熟な「しるし」。心が深くなれば、昔のままではないはずですね。一度もお精進をした事のない方は、やりやすいところから一皿のお精進・一食のお精進から始めてみてはいかがでしょう？」

だ今日の世情を憂えて、厭離戦争 欣求平和(戦争を)という新四字熟語を発

いと、平和を欣い求め 明使用していられます。

もちろんなこの熟語は、浄

土真宗七高僧の第六祖 横川源信僧都が、その著『往生要集』の中で『厭離穢土欣求淨土』（穢土をいとい淨土を欣い求める）と述べられたものからの転用であることは明らかであります。文化人である加藤周一さんが、われわれ仏教の精髓をあらわす言葉の一つである「厭離・欣求」の語を用いられたことをうれしく思っています。

そうではないのだという見方があります。お釈迦さまは、「すべてのものは暴力におびえ、すべてのものは死を恐れる。己が身にひきくらべて、殺してはならぬ。殺さしめてはならぬ」（『ダンマパダ』二九）と、暴力を絶対否定されましたが、反対にブッシュ大統領は、九・

す。つまり、「ではこうだ」とはいいますが、政治家はもちろん、仏教徒もキリスト教徒も、結局は自分の都合の良いように、時代時代で自己の立場を正当化する手段として宗教的権威を利用してきた、またしているにすぎないのだと思います。

修正会「流盃の様子。」



絵・堀岡春三さん

一一事件の直後、即座に「報復だー」と叫びました。その背景に、旧約聖書

「目には目を歯には歯を」という言葉があつて、神さまは適度な報復を認めていられるのだというので、しかし、過去を振り返ると、その平和を願っているはずの仏教徒が戦争に荷担し、逆にキリスト教徒も「剣をもとに納めなさい。剣を取る者はみな剣で滅び

時、有名な「君死にたまふことなかれ」の詩を発表し、その中で「すめらみことは たたかひに おおみづからは いでまかね かたみに人の血を流し けもの道に死ねよ」とは「云々と歌っています。すめらみこと（天皇）は、こ自身戦争には出がけられませぬ。ブッシュさんも小泉さんもそうです。いつも言々くしを引くのは名もなき庶民です。自国が戦場になつたことのないアメリカでも、ベトナム戦争に従軍し、戦争のむこ



修正会「流盃の様子。」

ブッシュさんの言動を見て、何となく清水さんの説が理解できるようです。戦争中毒のアメリカでは、とにかく「厭離戦争、欣求平和」と舌高に叫ぶのをはばかる雰囲気があるとの報道がありますが、日本は今のところまだなんとか大丈夫です。戦争を厭い、平和を願う仏教徒として、またモノが言えるうちに、こぞこのスロウガンを呼びかけたいところですね。

第十二回世界仏教婦人大会に参加して

伏原三丁目 折出 笹美

帰りには、必ずお寺に立ち寄り、お寺の便所の掃除をして自宅に帰られたそうです。ある日、田中さんが交

平成十四年十月九・十日にブラジルのサンパウロで大谷範子仏教総連盟総裁と新門さまをお迎えして第十二回世界仏教婦人大会が開催されました。

九日の午前中は、開会式に続いて、勸学梯實円和上

が親鸞聖人のみ教えと妙好人源左同行の話をされました。

源左さんの甥であった足利利男先生は京都の平安高校の校長先生を最後に退職されたそうですが、和上はこの方と親交があつて、法事には一緒に「源左

おじちゃん」の話

をしたということですよ。私毛蔵本通支坊で購入した「源左同行」のテープを何十回と聞いておりましたが、そのテープの声と今日の前で話されている方の声が一緒だと思つと何か因縁を感じました。午後は、前主勝如上人と嬪子裏方



6千人収容の会場で、折出さん(右)と生田さん(中)。



サンパウロ別院

のビデオを見ながら、そのお徳を偲ばせていただきました。ブラジルにとっては元祖のような方で、時には、車が通れない道を馬に乗って百六十日間も泊まり歩きながら布教をされたそうです。

十日の午前中は、各国代表の方の意見発表がありました。日本からは、山口教区の方

方が「やってみよう小さな事から」「出来ることから始めよう」という題で話されました。カナダ代表でカナダ在住の生田照子さんは、田中マツさん(五十才)の話をされました。田中さんの子どもさんは二人とも戦死され、ご主人もお亡くなりになり、ハウスキーパーの仕事



イグアスの滝(ブラジルとアルゼンチンの国境)。山というほどの山もなく、何百kmも遠くの地平線から流れてきて、水しぶきをあげて洪水のように落ち込んでいます。ここに宿泊しました。

通事故でお亡くなりになり、生田さんと警察が家に行つてみると、仏壇の前に置いてあつたお経本のめくる所に穴があいていたそうです。

午後は、懇談とアトラクシヨンの音楽と踊りが発表されました。

ブラジルの二世の方とはとにかくよく働いて、三世、四世を皆大学

に進学させたそうです。会場のごかしこに同じ出身の方向士が手を取り合つて涙を流している姿が見られました。私も広出身の方と話をすることができまし

なにしる、六千人入るよ
うな広い会場に、日本から
の五百五十人の参加者を加
えて全部で二千人の参加者
が念仏踊りをしたり、歌を
歌ったり笑いと涙の楽しい
ひと時を過ごすことが出来
ました。参加して本当によ
かったと思いました。

日本に帰るとき、「四年後
に逢いましょう。ハワイで
待っています。」とハワイ
の方が言うてくださいまし
た。もし、機会があれば
是非参加したいと思いま
す。

最後に、ブラジルからの
帰りにアメリカのグランド
キャニオン立ち寄りまし

た。数億年に及ぶコロラド
河の浸食と地層の隆起作用
によって出来た全長四百六
十km、深さ千六百メートル
の大峽谷です。今なお二
三年に一〜二mm深くなつて
いるそつで、その神秘さに

は、仏教で言う二劫とい
う数字がわかるような気がし
ました。
編集者註へ一劫は一定
しませんが、四十里四方の岩
を天女が百年に一度天から降
りてきて、薄い羽衣で一度撫
でて帰る。同じ事を繰り返す
うち、岩が削れてなくなるま
での極めて長い時間の単位

去る十一月四日、広島県立総合体育館に、全国から四
千九百人が集い、仏教壮年広島大会が行われました。



西教寺からは、前列左から原本春香・中山和昭・斎藤佳康・南徹法務員
後列左から、棚田純孝・脇岡信之・大石直義・中田貢さんら8名が参加。

成人おめでとう！



成人おめでとうございます。今年
は、五十一名の方が成人され、本願
寺より『歎異抄』が贈られました。
歎異抄は、さまざまな人生の問いに
答える勝れた宗教書として、近代以
降、大切に読まれてきた書物です。
感受性の鋭い間に、是非一読下さ
い。

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|--------|--------|-------|-------|-------|--------|-------|--------|-------|-------|-------|--------|-------|--------|--------|--------|--------|-------|-------|--------|--------|-------|------|--------|-------|------|-------|-------|------|-------|-------|
| 天野 淳峰 | 石山 由佳子 | 伊勢田 佳奈 | 井上 洋子 | 大川 未央 | 大世 渡操 | 大矢 紗弥子 | 岡田 邦彦 | 小川 啓子 | 折出 剛士 | 折出 泰典 | 川本 源太 | 関田 恵美子 | 北川 紗希 | 久保 亜弥子 | 黒崎 今日子 | 佐伯 美沙子 | 新元 優志 | 末永 洋介 | | | | | | | | | | | | | |
| 平 真美雅 | 太刀掛 善久 | 筒本 清圭 | 寺尾 真美 | 富永 宏美 | 中本 博人 | 中本 乃介 | 二井谷 昇 | 二井内 由美 | 西岡 直美 | 西川 真朱 | 西村 典子 | 元樹 | 花崎 翔太 | 馬場 尚子 | 羽仁 隆豊 | 林 加奈 | 原垣内 邦昭 | 秀川 善啓 | 広瀬 康士 | 廣本 さやか | 古塚 智枝美 | 古塚 恵子 | 榎坪 諭 | 丸本 あゆみ | 水口 順子 | 水口 彩 | 水野 慎司 | 村高 礼典 | 山路 陽 | 山本 康彦 | 山本 知世 |

広島真宗 カウンセリング 学習会

とき 一月二十九日(木) 十時
〜三十日(金) 十二時
ところ 呉ステーションホテル
会費: 8000円
(食事・宿泊・懇親会費は別途必要)

定員 三十名
講師 西光 義敬 先生
(全日本カウンセリング協会理事・日本トランスパーソナル学会顧問・トランスパーソナル心理学/精神医学会顧問・全日本社会福祉学会顧問・真宗カウンセリング研究会会長・元龍谷大学教授・奈良県万行寺住職)

学習内容
先生の四十年間のカウンセリング経験に学びつつ、実践的に体験学習を深めていきます。
いま「抜苦与楽」を目的とする(仏法・仏道)、凡夫の「除苦惱法」を開示する真宗と、ますます多様化・複雑化していく心の悩みに応えようとするカウンセリング・心理療法との出会いと統合が求められています(以下省略)。

詳しいご案内・お問合せ・お申込はお寺まで
でんわ 0823-21-2798

新世話人
私たちがお世話をします

上山田地区

(旧) 空井幸子さん



空井哲子さん

(旧) 細田ヒロ子さん



吉元ハルコさん

(増員)



折出笹美さん

三津田地区

(増員)



尾木寿々枝さん

旧世話人の皆さん、長い間ご法義のためにご報告くださりありがとうございました。新世話人さん、どうぞよろしくおねがいします。

おとりこし
報恩講



長ノ木本坊のご満座の様子(十二月十六日)。

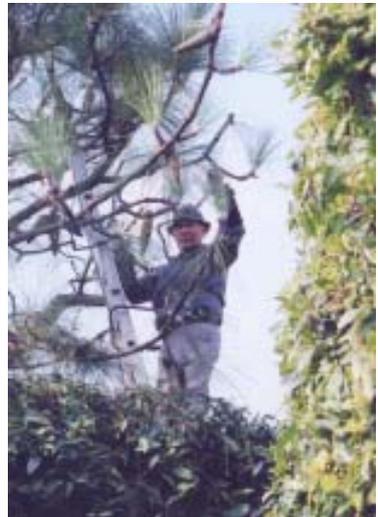


橋本貞雄・坂井ヒサエさんらによる障子の張り替えは1日がかり(11月10日)



お寺のおみがきは半端ではない。蔵本通支坊のおみがきの様子(11月22日)。

親鸞さまのご法事を年内に取り越してつとめる「おとりこし報恩講」が三津田支坊、蔵本通支坊、長ノ木本坊の順番で、今年もにぎにぎしくつとまりました。長引く不況と高齢化に苦しみつつも、仏法を聞いて心を学びながら、老体に鞭打ち、また仕事の合間をぬって、至らないながらも「世の中安穩なれ、仏法弘まれ」という願いの中で、それぞれが、それぞれできることを「報恩講」しました。今年も、とてもすばらしい報恩講がつとまりました。



約1ヶ月間、ほぼ毎日植木の剪定に通って下さった、高下田武夫さん。



(写真右下) 絶品! 法中に 出された小田原倅江さん作マンゴーのチーズケーキ。もちろんお精進。小田原さんは呉市制百年記念レンガケーキコンテストにも入賞した腕前。夫一(はじめ)さんは、溝掃除のご報告をしてくださりました。



蔵本通支坊売店の皆さん。ロシアの塩は売れましたか？



「あ、ヒビが！」樋口さんが手で押さえたがどうなることも出来なかった。「バリバリッ！」古くなったポリバケツが崩壊して、大量の汁が境内に流れてしまった。一同大ハニック。



恒例になった長ノ木本坊婦人会の集合写真。クビにはおそろいの赤いタオル。昔、黄巾党というのがいたらしいが...。新メンバー佐藤・空井・吉元・折出・筒本さんらも加わりパワーアップしました。蔵本にも森政・本片山さんらが新たにお手伝い下さいました。

長ノ木本坊の売店の皆さん。12月の本坊は寒いんですよねえ。



芋を洗うような混雑の中、表庫裏廊下でお齋の盛り付け。本堂が立ち入り禁止になってから表庫裏で法座をしているので場所がないのです...。障子の向こう側はお取り継ぎ(お話)の真っ最中。「静かに！」という張り紙があちこちに貼ってありました。

どなちでこ
りや縛りち
芋がとか×
たい顔がき
い。顔を混
出す。水は
うしちび
れる真ち
る真ち
る白く
ぼ白く



ながのきほんぼう
長ノ木本坊

〒737-0053
呉市長ノ木町16-10
TEL 0823-21-3714
FAX 0823-21-2991
EMAIL:mamocha@mb.infoweb.ne.jp

くらもとどおりしぼう
蔵本通支坊

〒737-0051
呉市中央7-7-13
TEL 0823-21-2798
FAX 0823-21-2795
EMAIL:chinei63@enjoy.ne.jp
HP:http://www.ttec.co.jp/~chinei63

みつだしぼう
三津田支坊

〒737-0821
呉市三條4-13-7
TEL 0823-21-5895
FAX 0823-21-5895

敬 悼 録

厚井 トミ子さん

温厚篤実な方で、永年長ノ木地区のお世話人としてご報謝下さいました。葬儀にあたっては、仏博会長佐藤園江さんが仏婦総裁さまの弔辞を代読されました。

二 百	西 辰 川 二	上 田	松 美	八 十
八 百	西 三 津 田 町	三 田	俊 信	九 十
九 百	東 広 島 市	志 田 原	良 美	六 十
十 三 日	三 条 三	小 島	正 則	七 十
十 四 日	船 見 町	酒 井	キ ミ ヨ	九 十
十 五 日	畝 原 町	黒 川	テ ル コ	七 十
十 九 日	東 辰 川 町	相 原	太 助	七 十
十 九 日	西 辰 川 二	広 本	フ コ ノ	七 十
廿 一 日	焼 山 中 央 四	岡 安	知 恵 美	八 十
廿 六 日	中 通 三	利 川	波 子	六 十
一 日	南 辰 川 町	中 野	政 信	四 十
三 日	下 山 田 町	二 井 谷	君 江	九 十
十 二 日	南 辰 川 町	古 内	晃 子	八 十
十 六 日	西 中 央 五	南 谷	美 恵 子	六 十
廿 二 日	西 中 央 五	部 谷	武 ツ コ	七 十
廿 五 日	焼 山 此 原 町	橋 本	カ ツ コ	九 十
廿 六 日	西 辰 川 二	向 井	正 子	八 十
三 日	西 惣 付 町	河 野	シ ナ エ	七 十
七 日	両 城 二	形 岡	繁 子	七 十
八 日	焼 山 松 ヶ 丘 二	曾 我	ト ヨ 子	七 十
十 一 日	東 辰 川 町	正 寿	一 登	九 十
十 一 日	東 愛 宕 町	水 野	恒 美	六 十

一 日	広 島 市 東 区	檀 本	宏 之	六 十
五 日	三 条 四	山 本	キ ク ヨ	九 十
七 日	東 三 津 田 町	中 尾	泰 章	七 十
十 日	東 三 津 田 町	伊 藤	紋 子	七 十
十 二 日	伏 原 二	鳥 川	俊 昭	七 十
十 二 日	西 愛 宕 町	吉 甲	ヲ チ ヨ ウ	九 十
十 九 日	西 辰 川 二	正 寿	恂 三	八 十
廿 二 日	西 辰 川 二	山 崎	八 千 代	八 十
廿 二 日	本 通 六	久 保	悦 宏	五 十
廿 四 日	新 宮 町	厚 井	ミ サ 子	九 十
廿 六 日	長 ノ 木 町	畝 原	と み 糸	八 十
廿 七 日	伏 原 町	山 縣	タ カ ノ	八 十
廿 七 日	中 央 五	出 清 水	曠 二	八 十
廿 八 日	三 和 町	府 録	秀 夫	九 十
卅 一 日	焼 山 泉 ヶ 丘 二	府 録	ヨ シ 子	八 十

あまたの人の 善意につままれて 今日ある命に 掌を合わせおり 奉仕など 数多の人の 献血を受く (河野シナエさん)

三津田支坊 年末大掃除

三津田支坊大掃除は、年々盛り上がりつつあります。今年も皆が誘い合って集まり、大きな外陣灯籠を下ろして磨いたり、天井から欄間から、あらゆるところをピカピカにお掃除しました。



ステキな笑顔でお掃除する中田貢(総代)さん(写真中央)。

みたらし 御手洗

久保田 利数

(『類聚名物考』より)

御手洗「みたらし」は、中古より神社のほとりの泉水ということであろう。山水などがトクトクと垂れ落ちるところだから、それを神水だとして、御たらせと申すのだろうか。又は水垂させの意か。多世の約は志となり、御たらしの弓(腰に



蔵本通支坊の手水鉢。さて問題です。どう読むでしょう？(答えは9ページ)

たらした弓)とか御はかしのたち(佩刀)などというも同じ意。滝を遠江国の山中の人は垂という。これ同じ意である。そのほかに樋樋というの水のたる所である。また上野国の伊香保の沼を、今は通俗には榛名の御手洗という。神前の川はどこでもみたらし川と言うようだ。

(『述斎偶筆』より)

てつばち(ちようずばち)

大きな手水鉢は夏によし、朝々水をかえると、陶器にしても、銅器にしてもよし、石製は洗浄するに不便。石の手水鉢で、今も忘れられないものあり。それ



本文中の、石山本願寺の時代からある手水鉢が大阪城に残っているという話ですが、大阪歴史博物館等いろいろ問い合わせましたが、どうも残念ながら現存していないようです。現在本願寺史資料室に調べてもらっています。そのかわりといつては何ですが、手水鉢ではありませんが「蓮如井」といわれる「井戸」ならあったようです。『蓮如上人御旧跡絵抄』(1811年)などに散見できます。しかし残念ながら、これも現在は駐車場となっていて現存していません(写真は蓮如井『大阪の町と本願寺』より転載)。

籠もそばにある。

(『倭訓栞』)にて

みづとあり手水と記す。今は「てつづ(ちようず)」。枕草子にも出ている。日本紀に「洗手水」を「おほてみづ」と読んでいる。

(『真俗仏事編』)

に柴手水とある。金剛香菩薩の持つ花は香氣がある。香は清浄のいである。天笠に香にて

身にぬり清浄にする。花に香あるので木葉にて手を洗う。芝手水という。神仏を拜む時に手洗つべき水なき故にかりそめに草をもんで手水つかうマネをして清めるのである。手水とも塵こりとも言う。冬、道を行く時雪あれば必ず手ですくい以って手を浄める。これを雪手水という。

本坊駐車場 広くなりました

長ノ木本坊駐車場は、現在三箇所ありますが、この度南側駐車場が広くなり、車でお参りしやすくなりました。山門を右に進むとあります。ご覧のようにかなり駐車できます。どうぞご利用ください。



写真中央のオトコマ工は、南法務員(結婚相手募集中)です。虫眼鏡でよく見てね

新年の日記

「ちや十年」の巻

今年も婦人会の皆様を中心
に、「門徒の皆さんのお陰で
無事に報恩講法座が勤まりま
した。」

毎年のごとくですが、寒の中
「報謝くださっている方々の
姿には感動します。このすば
らしい縁がこれからも続い
ていくように頑張らなくては
と、逆に私が励まされるよう
な思いです。」

元旦にも皆さんの前で、お話

新聞に載せる記事、ご意見
ご感想をお待ちしています。

〒737-0051
呉市中央7-7-13
西教寺蔵本通支坊
西教寺報編集局 宛
FAX(0823)21-2795
Email chinei63@enjoy.ne.jp

しましたが、私がお寺に来て
十年になります。「十年経っ
てこんなに立派なお寺の坊守
として勤めることができるよ
うになりました。」とお話
できるようならよいのです
が、何をしても未熟なこ
ろばかりです。

お寺ではたくさんの方々と
接する機会があり、そのなか
でいろいろな学ばせていた
きます。そんな中でお参りさ
れた方から「いつも新聞を葉
しみにしていますよ」「立派な
お母さんになられましたね」
等々たくさん励ましのお
言葉を頂いたりします。そん
な時 私がついて皆さんか
ら温かいお育てを頂けるの
も、お寺に来させてもらっ
たからこそのな、と実感しま
す。子供は褒めて育てないと
とよく聞くのですが、そし
なければならぬ私がつい
皆さんにほめていただいでい
ます。私が皆さんに暖かい言

葉をお掛けできる様になるの
はいつのことでしょうか。

さて、我が家ですが、四年
ぶりに家族五人元気で正月
を迎えることができました。

昨年十月には、慧が足を骨折
して十日間入院し、二ヶ月間
の松葉杖の生活でしたが、
やっと十月になつて歩ける
ようになりました。

「家族が元気でいることは
本当に有難いこ
とで、うれしい
ことなんよ」と
よく言われま
す。さりなが
ら、元氣な3人
の息子たちの日
に日に増強する
パワーはすごい
ものです。放つ
ておくと家中大変な
ことにされてしま
います。しかも、我が
子達は誰に似たのか
声がとても大きいの

で、プチ切れてしまった私
があらん限りの声で「うる
さいー！静かにー！」と
怒鳴っても聞かれないほど
です。という訳で、私の方も更
に大きい声が出るようになり
ました。ますますパワーアッ
プして、男の子たちにも負け
ないたくましいお母さんとな
りつつあります。もちろん体
のほつともー？



車椅子で登校。社会福祉協議会さんがタダで貸してくれました。お陰で元氣になりました。どうもありがとうございます！

お願い

修復工事報告書を作成するにあたり、お寺の歴史を調査すること
になりました。西教寺長ノ木本坊の古い写真や絵図、新聞記事、そ
の他の記録(県・郡・市町村史誌・近世地誌などの地方誌)など、
何でも結構です。修復委員会(窓口・蔵本通支坊)までご連絡下
さい。0823(21)2798



おわびと訂正

【寺報九〇号】

- 紙面
- 佐々木 ちゃん(誤)
- 佐々木 珠希ちゃん(正)
- 敬悼録
- 吉村三枝(誤)
- 吉村二美枝(正)

お礼

- 三津田支坊
- ・冷蔵庫と扇風機 鈴木 啓司
- ・報恩講のお斎の材料 勝
- 寺報へ
- 松山静香(広島市安佐北区)
- 松山智恵子(広島市西区)
- 荒本由美(鳥根県大田市)
- 八ガキ
- 河野
- 西野
- 山下
- 山本
- 和俊(西惣付町)
- 康江(焼山北)
- 巖(上山田町)
- セツ(焼山桜ヶ丘)

本坊本堂修復 経過のご報告

皆さんのお陰で、ご懇志
は順調に集まっておりま
す。さて、工事の進行状況
ですが、九〇号で御知らせ
した段階では、既に工事が
始まっているはずですが、
寺報号外でも御知らせした
ように、昨年一〇月、突然
設計士の藤田さんが入院さ
れ、計画中断を余儀なくさ
れました。その後無事退院
され、一月十九日、数ヶ月
ぶりに委員会再開が決定い
たしました。三ヶ月遅
れで進行しておりますこと
をご報告申し上げます。

(住職)